

予防接種スケジュール

大切な子どもを VPD(ワクチンで防げる病気)から守るためには、接種できる時期になったらできるだけベストのタイミングで、忘れずに予防接種を受けることが重要です。このスケジュールは「VPDを知って、子どもを守ろう。」の会によるもっとも早期に免疫をつけるための提案です。お子さまの予防接種に関しては、地域ごとの接種方法や VPD の流行状況に応じて、かかりつけ医と相談のうえスケジュールを立てましょう。

ワクチン名	接種済み ☑	0 歳											1 歳											2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳			
		1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳1か月	1歳2か月	1歳3か月	1歳4か月	1歳5か月	1歳6か月	1歳7か月	1歳8か月	1歳9か月	1歳10か月	1歳11か月							(満年齢)		
不活化ワクチン B型肝炎	任意	□□□	① → ② →											③ →																		
生ワクチン ロタウイルス (2回接種・3回接種)	任意	□□	① → ② →											③ →																		
不活化ワクチン ヒブ	任意	□□□□	① → ② → ③ →											④ →																		
不活化ワクチン 小児用肺炎球菌	任意	□□□□	① → ② → ③ →											④ →																		
不活化ワクチン 三種混合 (DPT)	定期	□□□□	① → ② → ③ →											④ →																		
生ワクチン BCG	定期	□	① →																													
生ワクチン ポリオ	定期	□□																														
生ワクチン MR (麻しん風しん混合)	定期	□□												① →																		
生ワクチン おたふくかぜ	任意	□□												① →																		
生ワクチン みずぼうそう (水痘)	任意	□□												① →																		
不活化ワクチン 日本脳炎	定期	□□□																														
不活化ワクチン インフルエンザ	任意	毎秋																														

ロタウイルスは2種類あります。できるだけ生後15週までに接種を開始し、それぞれの必要接種回数を受けましょう

ロタウイルス・ヒブ・小児用肺炎球菌・三種混合の必要回数を早期に完了するためには、同時接種で受けることが重要です

接種費用の助成制度があります。お住まいの自治体に確認してください

二種混合 (DT) : 11歳で追加接種 (接種対象11-12歳)

個別接種の場合はヒブ・小児用肺炎球菌・三種混合などと同時接種で受けられます

2012年度中に国が不活化ポリオワクチンを導入する方針です

MR (麻しん風しん混合) : 小学校入学の前年 (幼稚園・保育園の年長に相当) 1年間に接種 (4月~6月がおすすめ)

追加接種は、初回接種から3か月以上の間隔をあけて受けましょう

インフルエンザ : 毎年、10月から11月ごろに接種しましょう

日本脳炎 : 9歳で追加接種 (接種対象9-12歳)

不活化ワクチン 定期 定められた期間内で受ける場合は原則として無料(公費負担)。 定期予防接種の対象年齢

生ワクチン 任意 多くは有料(自己負担)。ワクチンによっては公費助成があります。任意接種ワクチンの必要性は定期接種ワクチンと変わりません。 任意接種の接種できる年齢

同時接種 : 同時に複数のワクチンを接種することができます。安全性は単独でワクチンを接種した場合と変わりません。日本小児科学会は乳幼児の接種部位として大腿外側部も推奨しています。くわしくはかかりつけ医にご相談ください。

①②③ → おすすめの接種時期(数字は接種回数)

●次にほかの種類のワクチンが接種できるのは、不活化ワクチン接種後は1週間後の同じ曜日から、生ワクチン接種後は4週間後の同じ曜日からです。

詳しい情報は <http://www.know-vpd.jp/> **VPD** **検索**